

中期経営計画



進捗状況

ZEON

日本ゼオン株式会社

代表取締役社長 田中 公章

2019年4月26日

1. PhaseⅢ全体進捗

2. セグメント別戦略および事業トピック

企業理念

CSR基本方針

ミッション

2020年のありたい姿

- 化学の力で未来を今日にするZEON -
わたしたちゼオンは、一人ひとりの成長を通じて、
お客様の夢と快適な社会の実現に貢献し続けます

重要な価値観

スピード

対話

社会貢献

大切にする
ゼオンらしさ

— 仲間との相互信頼 —

SZ-20
('11-'13)

PhaseⅡ
('14-'16)

PhaseⅢ
('17-'20)

企業理念

大地の永遠と人類の繁栄に貢献するゼオン

大地(ゼオ)と永遠(エオン)からなるゼオンの名にふさわしく、世界に誇り得る
独創的技術により、地球環境と人類の繁栄に貢献する。

CSR基本方針

- ・ コンプライアンスを徹底し、社会の安全・安心に応える。
- ・ 企業活動を通じ、社会の持続的発展と地球環境に貢献する。
- ・ 一人ひとりがCSRを自覚し、行動する。

2020年のありたい姿

『化学の力で未来を今日にするZEON』

-わたしたちゼオンは、一人ひとりの成長を通じて、
お客様の夢と快適な社会の実現に貢献し続けます-

2020年度連結売上高 5,000億円以上

SZ-20 PhaseⅢ 全社戦略

成長

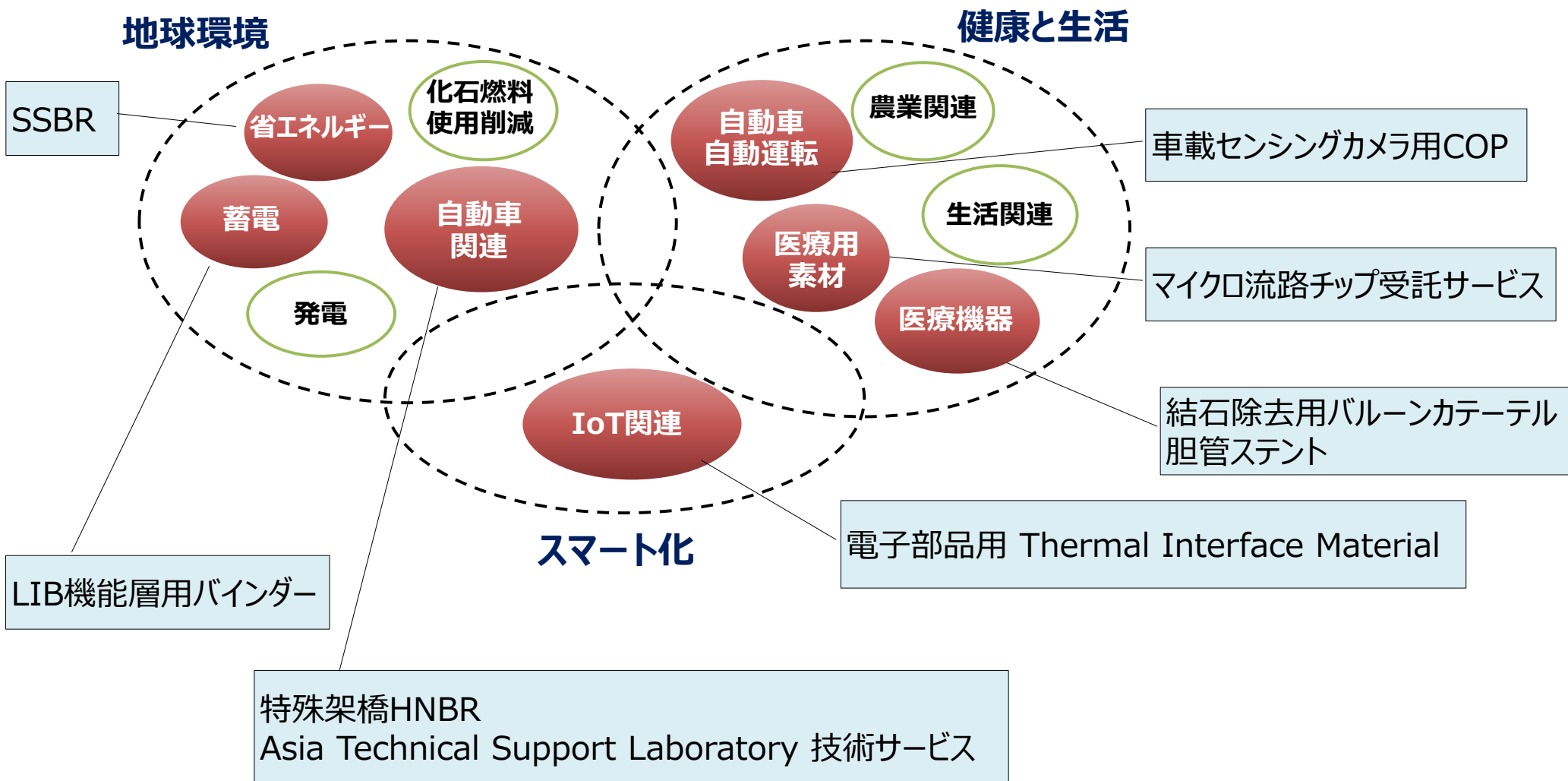
① オールゼオンの強みを組み合わせる『**深化**』と、壁を越えて外部と連携する『**探索**』によって、世界中に**ソリューション**を提供し、社会に貢献する。

② 『重点開発領域』での**新事業創出、新製品開発を加速**する。重点開発領域：地球環境、スマート化、健康と生活

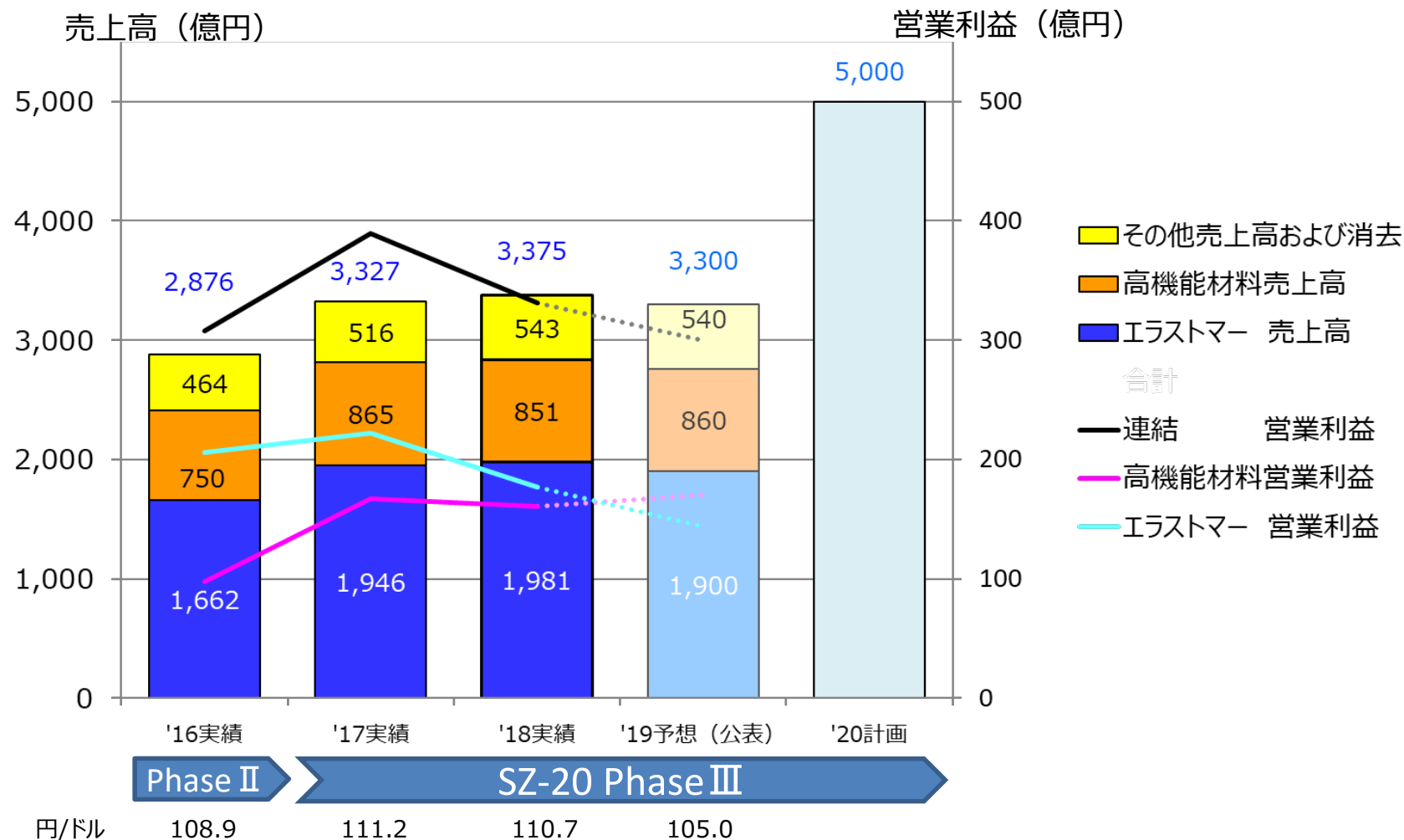
風土

③ **多様な考え方を活かし、まずやってみて、前向きに行動することを尊重する組織風土を育成する。**

成長分野に当社の技術で新製品・新サービスを展開



PhaseⅢに入り 過去最高の売上高を2年連続で更新 3,300億円台の水準へシフト
エラストマー素材は原料市況高騰が追い風
高機能材料はCOP樹脂、電池材料が成長



1. PhaseⅢ全体進捗

2. セグメント別戦略および事業トピック

事業セグメント別戦略

エラストマー素材事業

- ・成長市場へのグローバルな対応とコスト競争力強化によって、強みを発揮できる事業を更に深化させる。
- ・蓄積してきた市場からの信頼とお客様との関係を活かして、新たな可能性を探索し、成長に繋げる。

高機能材料事業

- ・重点的なリソース投入と外部との連携強化によって、市場成長と技術発展のスピードに対応して事業を拡大する。

事業セグメント別戦略

エラストマー素材事業

- ・成長市場へのグローバルな対応とコスト競争力強化によって、強みを発揮できる事業を更に深化させる。
- ・蓄積してきた市場からの信頼とお客様との関係を活かして、新たな可能性を探索し、成長に繋げる。

高機能材料事業

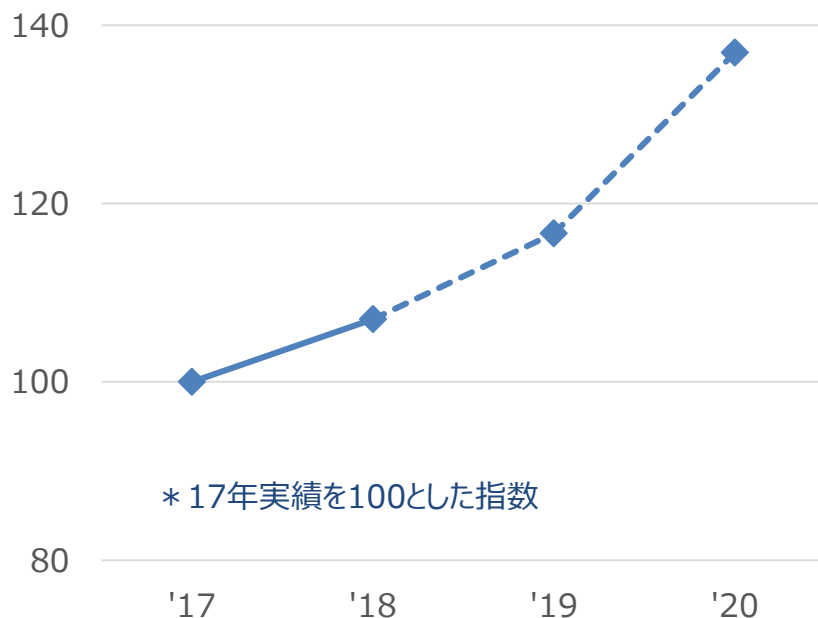
- ・重点的なリソース投入と外部との連携強化によって、市場成長と技術発展のスピードに対応して事業を拡大する。

技術・生産のシナジー効果で世界のリーディングポジションを目指す

住友化学および日本ゼオン両社のポリマー重合技術および生産技術を組み合わせ、自動車の軽量化とともに待望されているタイヤの「ウェットグリップ性」「低燃費性」「耐摩耗性」の向上を実現していきます。



S-SBRの販売数量見通し



事業環境

低燃費タイヤの普及に伴い、SSBRの世界需要は増加。

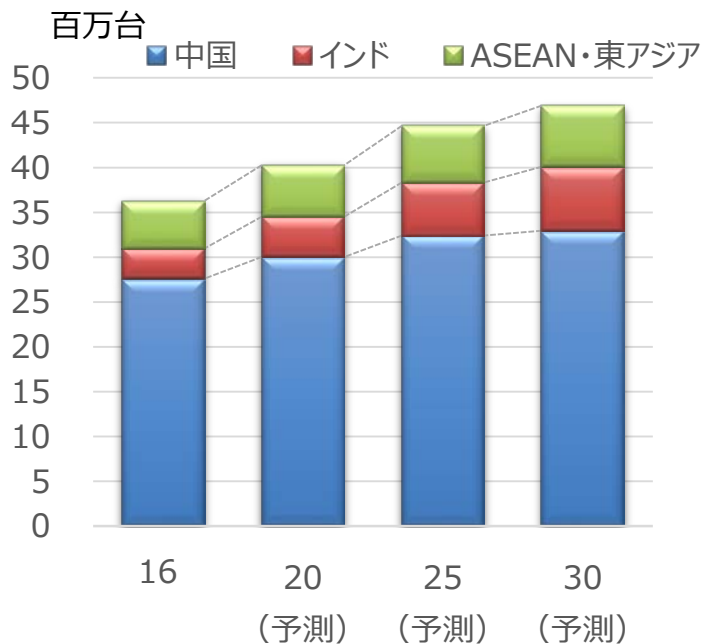
今後の展開

両社のポリマー重合技術を組合せた低燃費性能、耐摩耗性能を向上させたポリマーの早期上市を目指す。

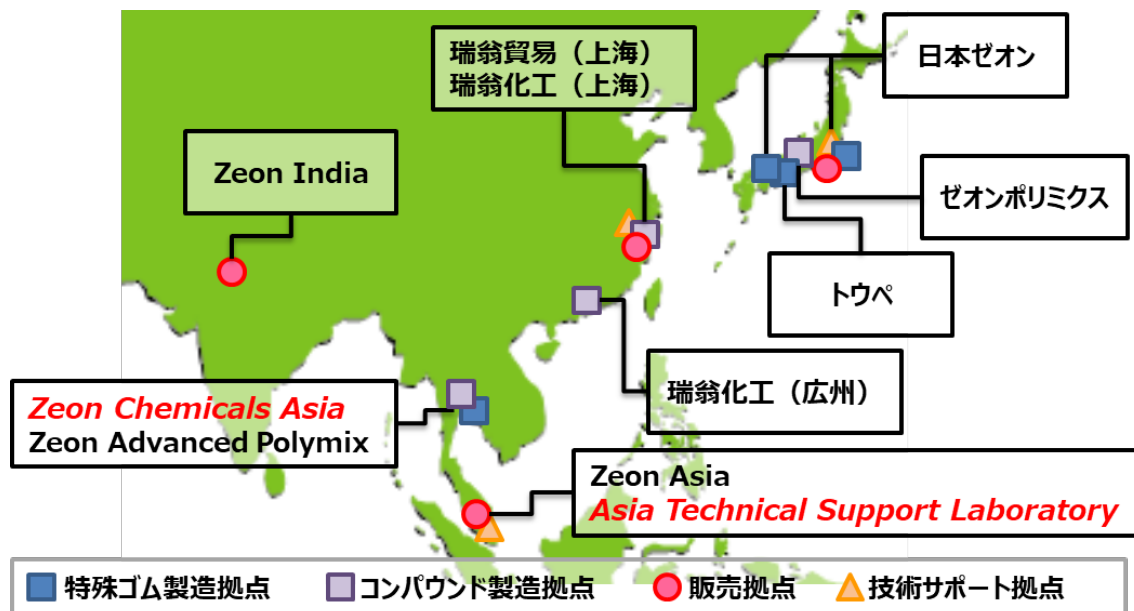


アジアでの製・販・技のネットワークを強化し、更なる販売拡大を図る

HEV含む 内燃機関搭載車販売構成予測



アジアに広がる特殊ゴムのネットワーク



出典：

① ASEAN・東アジア、中国 エリア

富士経済「2018年版 HEV、EV 関連市場徹底分析調査
(HEV、PHEV、48V M-HV、内燃車 合計)

② インド エリアに関しては当社推定

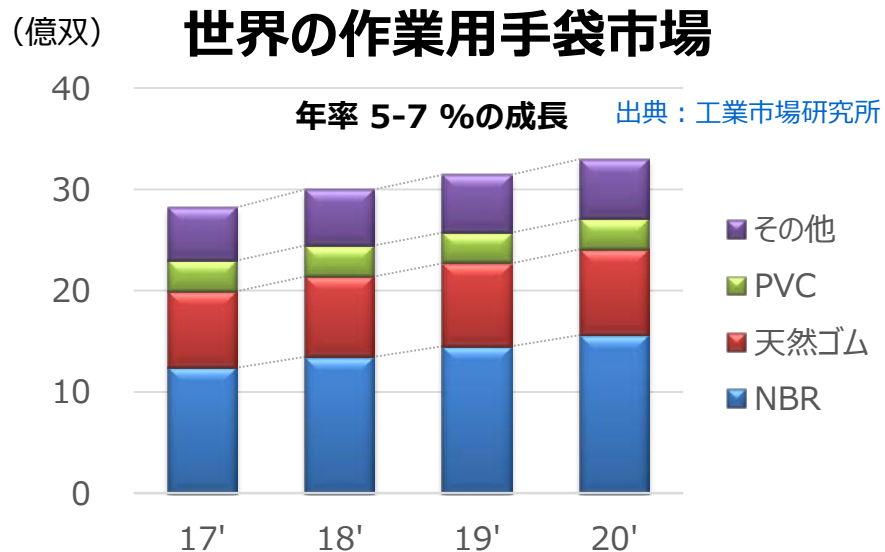
■ タイに新会社を設立

Zeon Chemicals Asia Co., Ltd.

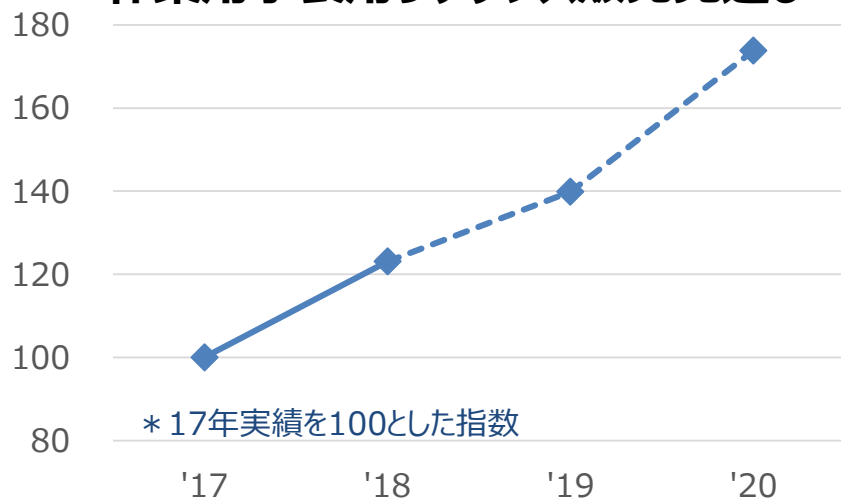
■ 生産能力：5,000 トン／年

■ 2020年春の完工を目指す

成長する作業用手袋市場において新製品で販売の拡大を目指す



作業用手袋用ラテックス販売見通し



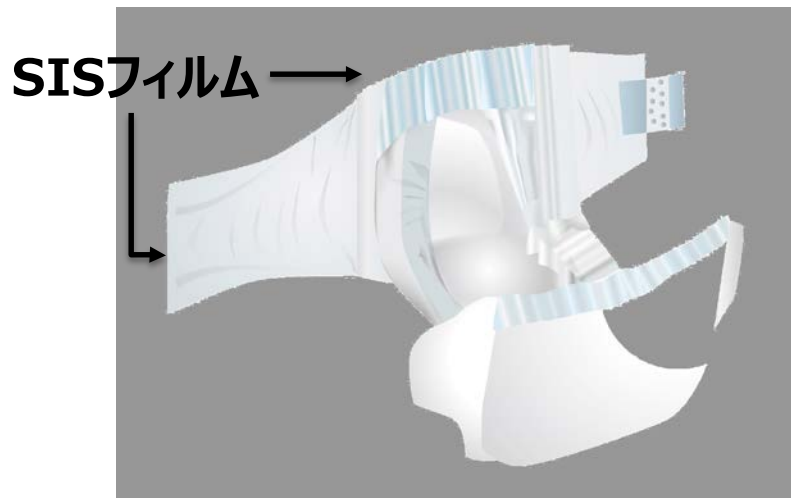
事業環境

労働安全意識の高まりにより、欧州を中心に作業用手袋市場が成長中。

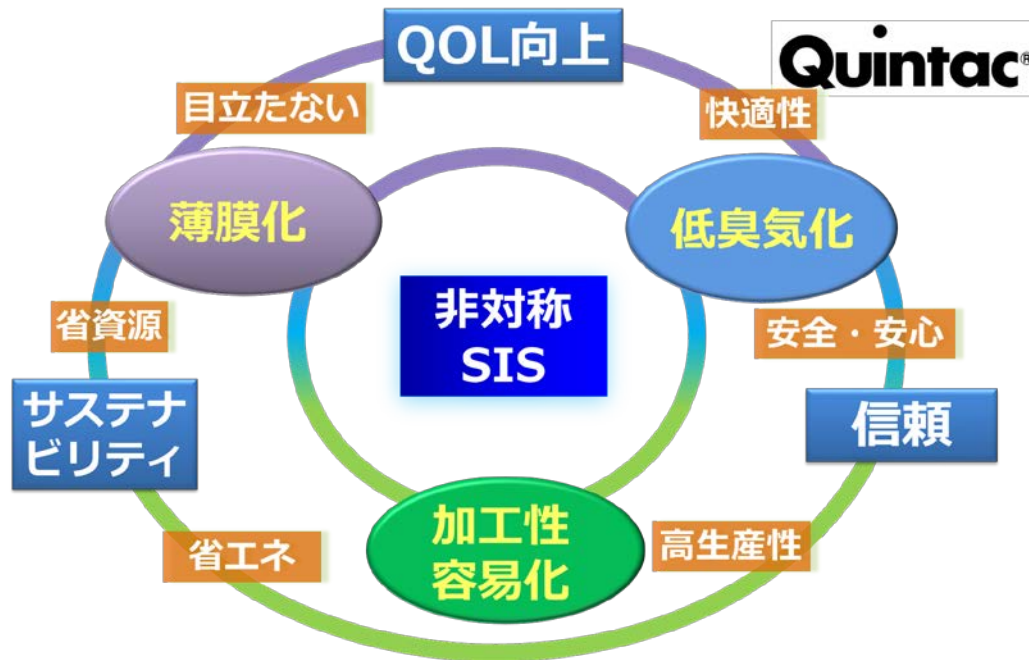
今後の展開

新製品の開発に取り組んでおり、2019年度中の上市を目指す。

2018年、非対称SISが紙おむつフィルムに採用拡大



非対称SISの販売数量見通し



事業環境

衛生材料である紙おむつは年率6%で伸長。

今後の展開

衛生材料以外の粘着ラベルやフレキシソ向けの展開が期待され、2020年には当初計画を上回る見込み。

日本、中国、メキシコの3拠点体制でグローバルに展開

パウダースラッシュコンパウンド (PSC)

- PVCを原料とするスラッシュ成型用コンパウンド
- 意匠性、成形加工性、低温特性に優れる

Zeon Kasei Mexico S.A. de C.V.



PSC用途：内装材表皮



事業環境

PVC/PSCは、自動車内装の表皮材として、日本及び海外自動車メーカーでも採用が拡大中。

今後の展開

新規ユーザーでの評価が進んでおり、今後採用車種が拡大していく見込み。

事業セグメント別戦略

エラストマー素材事業

- ・成長市場へのグローバルな対応とコスト競争力強化によって、強みを発揮できる事業を更に深化させる。
- ・蓄積してきた市場からの信頼とお客様との関係を活かして、新たな可能性を探索し、成長に繋げる。

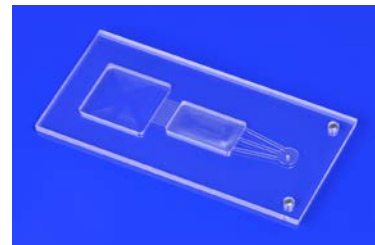
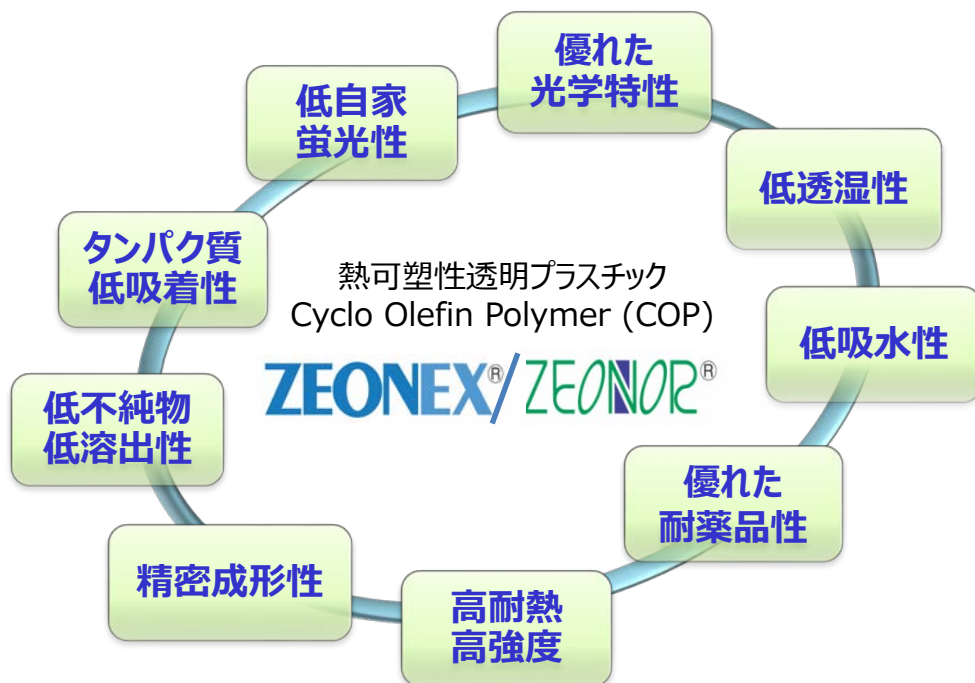
高機能材料事業

- ・重点的なリソース投入と外部との連携強化によって、市場成長と技術発展のスピードに対応して事業を拡大する。

光学・医療・バイオ市場の試作対応強化

多様化する医療・バイオ市場の分野において、COP樹脂製マイクロ流路チップなどのワン・ストップ・サービスを展開。

国内外の大学・研究機関・ベンチャーにこれまで以上に寄り添い、より積極的かつスピーディーな新製品・新サービスの提供を目指す。



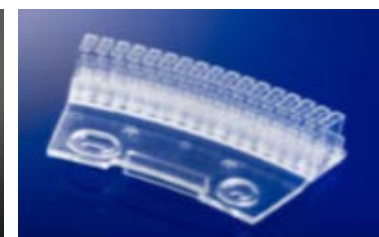
マイクロ流路チップ



プレフィルドシリンジ



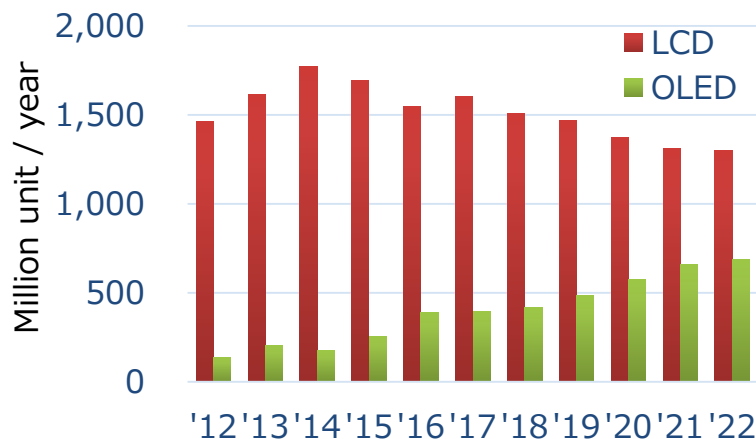
光学レンズ



血液検査セル

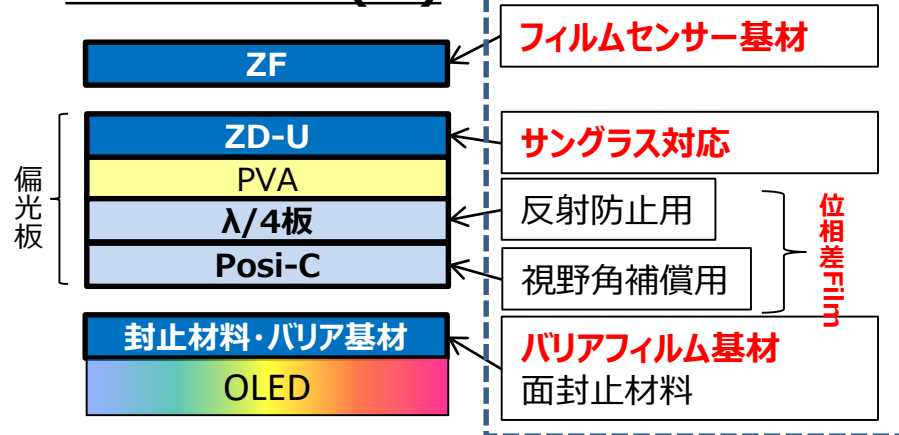
新材の品揃えで、中小型向けOLED市場での拡大を目指す

携帯電話用FPD市場予測



* IHSフォーラム (19年1月) のデータを基に当社作成

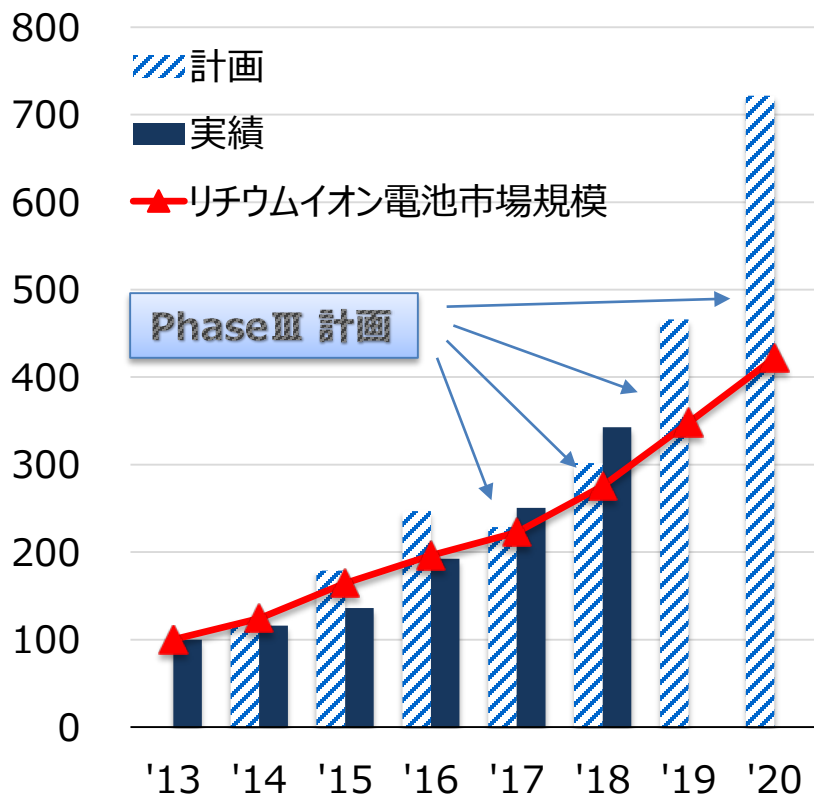
OLED模式図(例)



今後成長が見込まれる中小型向けOLED市場に対し、
 位相差フィルム(ZA-Film, 液晶塗布フィルム)、
 センサー基材(ZC-Film)の新材で採用拡大を目指す。

車載電池の拡大に合わせた製品展開で事業拡大を図る

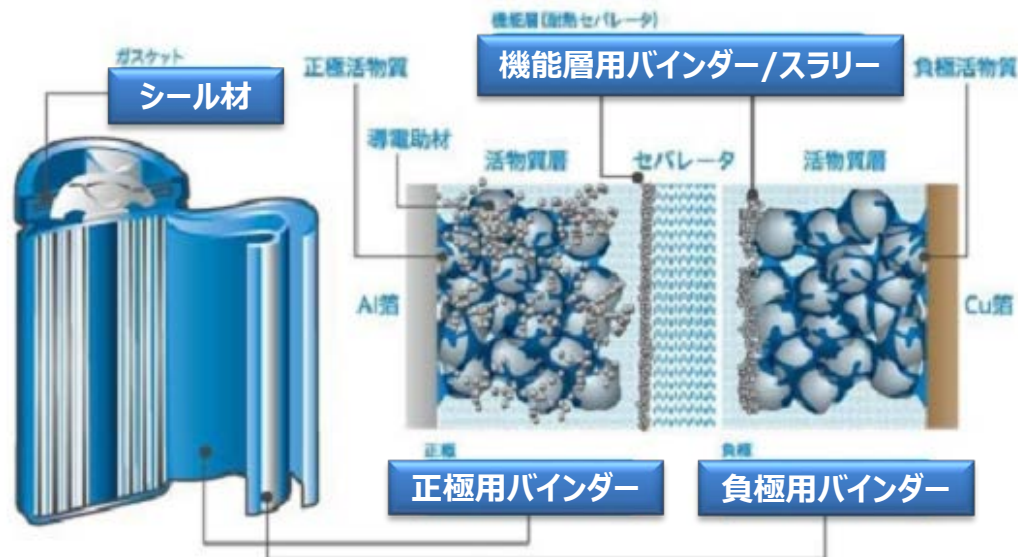
電池材料売上見通し



(* 13年度を100とした指数)
 (市場データ出典 : B3社レポート)

ゼオンの電池材料の特徴

シール材料 電池の液漏れ防止に貢献します。 → 長寿命への貢献	正極用・負極用バインダー 充放電に伴う膨張収縮を低減することができます。 → 長寿命・安全性への貢献
機能層用バインダー 2015年の上市以降、自動車用を中心に採用が拡大しております。 → 安全性への貢献	活物質の表面で起こっている化学反応を補助します。 → 高出力への貢献

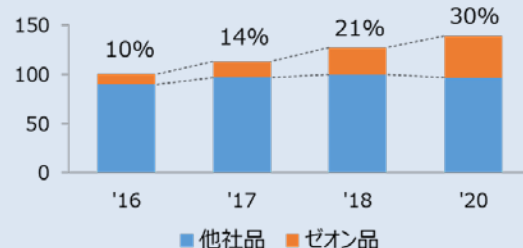


FFRデバイス、胆石除去・消化管ステント事業を拡大

循環器系：精度と信頼度の向上でシェア拡大

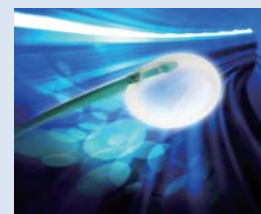
光センサー型FFRで2020年度市場シェア30%を目指す

FFR国内市場の推移および当社シェア



消化器系：低侵襲デバイスの提供に注力

18年度上市アイテム

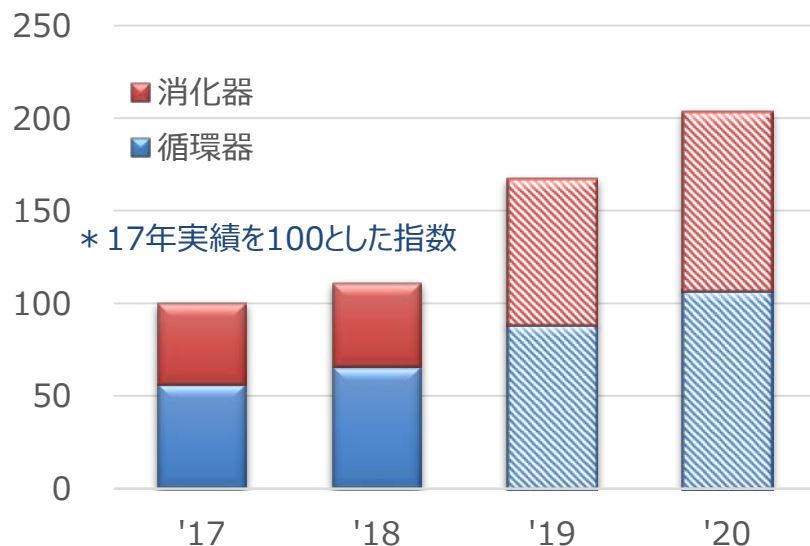


新型胆石除去バルーン



新型胆管ステント

メディカルデバイス売上見通し



事業環境

低侵襲医療機器国内市場は、前年比2.2%の成長。中でもFFR市場は20%を超える成長。

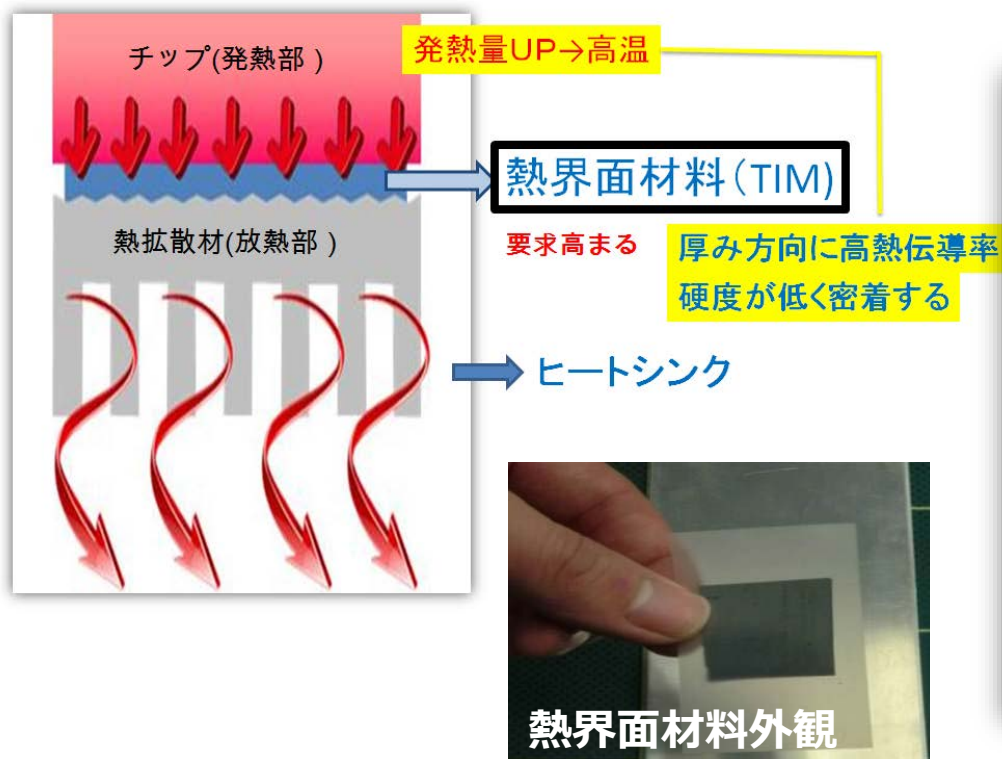
今後の展開

19年度も消化器系を中心に新製品を上市予定。

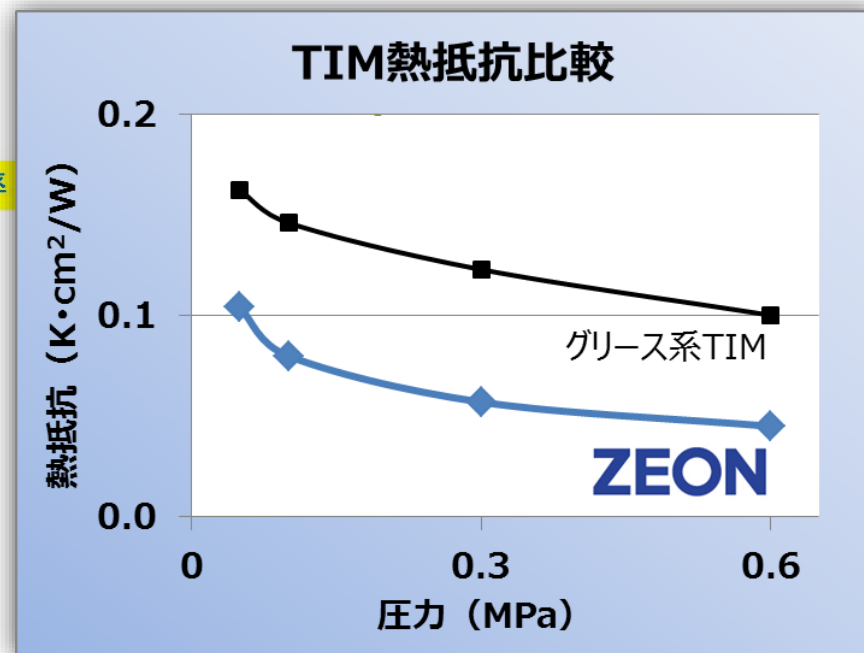
新型胆管ステント、新型止血鉗子
新型クリップ、FFR後継機種

サーバー、パワーデバイスなどの熱問題解決に期待

垂直方向に高い熱伝導性を持った高性能なシート系熱界面材料 (TIM) を開発



実使用の広い圧力領域で、低熱抵抗を実現



スピード

対話

社会貢献

－仲間との相互信頼－

以上

本資料に掲載されている当社の計画、見通しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

ZEON

日本ゼオン株式会社 CSR統括部門 広報室
東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル
Tel:03-3216-2747, Fax:03-3216-0501